

信篤 (SHINTOKU)

い ち か わ

市川市議会議員 松永おさみ 後援会だより 第 8 号

事務所 / 原木1-22-16 電話・FAX047-327-1470

<http://www.ryokufukai.net/>

☆市政七十周年の今年の子算 予算総額一十九百三十二億円余 一般会計一十七十億円

市川市の子算議会は、二月二十日に召集され三月二十四日までの三十四日間の日程で開催されました。この議会に提出された議案は、予算関連で十二件、条例関連では国民健康保険税引き上げ案など二十一件で、審議の結果全議案が市長提出の原案通り可決されました。

私松永おさみは、一般質問を行いJAの合併問題をはじめ、地元の問題として原木橋の急坂対応として、新しい橋を架けることの提案、放置自動車の対策等について、市側の意向を質しました。その概要を以下ご報告申し上げます。

○七十周年事業(抜粋)万円以下略

- ①七十周年記念式典 四百十三万円
- ②健康都市推進事業 三百八十万円
- ③郭沫若氏旧宅復元事業 三千九百三十五万円
- ④生き生き健康教室事業 千二百六万円
- ⑤いちかわ環境フェア 四十四万円
- ⑥スポーツ振興事業 百五十万円
- ⑦パートナーシティ提携事業 千九百九十二万円
- ⑧水木洋子文化基金事業 三百八十九万円
- ⑨東山魁夷記念館開設準備事業 四億七千六百六十万円
- ⑩行徳公会堂(第七中学校校舎建設等) 七千三百三十万円
- ⑪江戸川活用総合事業(江戸川桜並木整備) 四百五十万円
- 防災公園街区整備事業 九億一九三三万円
- 急病診療所建設運営事業 一億四八一六万円
- 消防出張所 〃 〃 〃 八億一六一九万円
- 花火大会負担金 三千六百万円

☆二月予算議会の一般質問

JAの合併に伴う行政対応について

質問 『合併に伴い本市農業行政にも影響が出ると思うがいかがか』

答弁 『厳しい経営環境を克服し、農家に対してよりよいサービスを提供する為に、JA組織及び経営基盤の強化を図ることを目的に合併する』

質問 『市川・船橋両市の話し合い・協議をどう構築していくのか』

答弁 『両市の事業内容を確認して、スタンスに差異があるように思われるので、必要に応じて協議をする』

質問 『制度利用等における行政の差異をどう埋めるのか』

答弁 『両市の農業の実態が若干異なっている。農家組合等については、その市の制度で対応し、広域的な対応については、JA市川と両市の三者で協議する』

質問 『両市にある卸売市場の活用策はいかに』

答弁 『現在JA市川を通して、松戸市場へ四百トン、船橋へ四十トン、東京へ三十トン、市川には二十トンを出荷、合併により船橋から市川の卸売市場への入荷量が拡大されるものと期待している』

質問 『今後の合併計画をどう把握しているのか』

答弁 『七月一日の合併のあと、東葛飾地区の十のJAを一時的にJAに、その他で一JA合わせて県内で二JAにする合併構想が検討されている。』

質問 『食の安全と自給率の向上について』

答弁 『農家も安心・安全な農産物の生産供給に心がけています。市も減農薬栽培と農薬使用の適正化を農家に啓発をし、支援している。自給率については、食料・農業・農村基本法に基づき、平成二十二年度の目標として四五%と設定されている。』

市としては、今後とも農業、水産業の振興・充実を図り、生産の向上により、食料自給率が向上につながるものと考えている』

スポーツ振興策と競技力の向上について
 質問『総合型地域スポーツクラブの設立について』
 答弁『生涯スポーツ活動支援の拠点づくりとして、市川型の総合型スポーツクラブの育成を計画中で、十六年度より国府台地区で試行開始を予定している。又、南部地域や行徳地域への拡充は、試行を見て拡大を図る。』

質問『中学校の部活動顧問の配属について』
 答弁『専門技術を持つ教職員が少なく、又高齢化で指導者が減少している。部活の維持活性化を図る為の一部活動等地域指導者協力事業を実施している。現在小中合わせて六十五名の方に運動部活動の指導をお願いしている。十六年度は九十名の方にお願いをして部活動の推進に努力する。』

質問『高齢者の健康対策とパークゴルフ場の新設について』
 答弁『いきいき健康教室を六十才以上を対象に実施十六年度は、七十五才以上を対象にして、はつらつシニア教室を開催して筋力・体力アップを図る。ハワイアンダンスについては、愛好者が集まり健康づくりや、生きがい作りに励んでいただいているので、市としても自主的な活動が更に活発になるよう、社会福祉協議会と必要に応じた支援に努める。パークゴルフ場については、関係部署と協議し市のスポーツ振興計画と併せ、研究課題とする。』

質問『来年の高校総体で市川はハンドB会場だが』
 答弁『高校生のスポーツの祭典を契機に、市民の健康と体力の向上を目指す生涯スポーツ活動の普及、振興につながるよう期待する。』

防災・交通対策について
 質問『真間川の原木橋に係わる歩行者の安全対策と歩行者、自転車用の橋を北側に架けることについて真剣にとりくんで欲しい。』

答弁『道路の勾配が急で、改良に苦慮している。歩行者の安全確保にガードパイプ等に手すりを

かねたものの設置を検討したい。京葉道路北側に橋がないので、防災面での心配がある。費用対効果の面も含め、長期的課題とさせて頂く。』

質問『信篤地域、京葉道路側道の防犯灯（道路照明）の設置について』
 答弁『防犯灯設置費補助として、千二十二灯分予算上してあるので、地域住民からの要望該当自治会の取り組みを伺い、設置計画に沿った補助をする。』

質問『放置自動車対策について』
 答弁『市は現状を打破するため、積極的に警察に働きかけ、協働して放置自動車の撤去に努める。』

質問『成人式の飲酒者対応について』
 答弁『飲酒しての入場は出来ない旨の広報活動の徹底を図り、迷惑行為に対しては強制退去など毅然とした態度で対応する。』

市政一般について―次の四項目については時間の関係上、又将来的な課題もあることから、問題提起として夫々要望を申し上げ、善処方を要請しました。

① 市内業者の育成について
 厳しい競争社会の現実ではあるが、市内業者育成の立場から、受注機会の増大を図り、市税の掘り起こしにも一役担って頂く為にも、市当局の特段の配慮を求めた。

② 不適格教員の処遇について
 五十七才の教諭のセクハラ行為に對しての処分の甘さを指摘し、厳しい姿勢を打ち出すよう教委の対応を求めた。

③ 緑の確保、広場・公園の増設について
 二十年後を目標としたみどりの基本計画で、市は現在の市民一人当りの面積を一、七五倍の四、七平方米に設定した。しかし、財源の裏付けがないこと、又、私達信篤・二俣地域は公園面積が市平均の三分の一しかない状況につき、せめて市平均値にまで底上げをして欲しいと訴え、要望を申し上げます。

④ 税の収納体制の強化について
 税務部を設けて、税の収納体制の強化と組織の充実を図られるよう要望した。